『海外子会社リーガルリスク管理の実務』出版記念セミナー

海外事業におけるリーガルリスク対応の核心

～破壊的変化の時代における法務・コンプライアンスの現実解とは～

2019/11/11 [月] **13:30-16:50**

主催：KPMGコンサルティング株式会社
ベーカー＆マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

KPMGコンサルティング株式会社とベーカー＆マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）は、共著『海外子会社リーガルリスク管理の実務』を中央経済社より発行しました。本書は、海外事業や海外子会社の管理に関わる全ての方々を対象に、海外事業特有の法的リスクの全体像を把握し、法的リスク回避軽減のための組織と業務運営の基本を理解していただくことを目的として、企画・執筆したものです。

この度、本書出版を記念して、グローバル化・デジタル化等の著しい環境変化のなか、日本企業に求められる現実的な法務・コンプライアンス対応について本書の活用方法とともに解説するセミナーを開催することといたしました。

講師は、本書の編著者であり、多くのグローバル企業を法的側面から支援してきたベーカー＆マッケンジー法律事務所の武藤佳昭弁護士・吉田武史弁護士をお迎えするとともに、企業の法務・コンプライアンス体制整備・運用支援に多く携わってきたKPMGのリスクコンサルタントである足立桂輔・水戸貴之が務めます。

なお、当日ご参加いただいた方には、『海外子会社リーガルリスク管理の実務』を特別価格で販売させていただきます。

時節柄ご多用とは存じますが、何卒ご出席賜りますようお願い申し上げます。

開催概要（プログラムは裏面をご覧ください）

開催日時	2019年11月11日（月）13:30-16:50（13:00受付開始）
会場	あずさ監査法人　東京事務所（飯田橋）4階研修室 東京都新宿区津久戸町1-2　あずさセンタービル JR：総武線「飯田橋駅」東口・西口より徒歩約8分 地下鉄：有楽町線・東西線・南北線・大江戸線 「飯田橋駅」B4b出口またはC1出口より徒歩約3分
対象者	海外事業関連部門、法務・コンプライアンス部門、経営企画部門、リスク管理部門の方
定員	100名 ※定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。あらかじめご了承ください。
受講料	無料
申込方法	下記URLよりお申込みください。 **home.kpmg/jp/1111-gcs** ※開催の1週間前までに「受講票」をメールにてお送りいたします。

※自然災害等が発生した場合には、開催を延期または中止する場合があります。
※個人および同業の方のお申込みはお断りする場合があります。

© 2019 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Company Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative (“KPMG International”), a Swiss entity. All rights reserved.

プログラム

13:30-13:40	**ごあいさつ**
13:40-14:30	**海外事業におけるリーガルリスクの勘所** 『海外子会社リーガルリスク管理の実務』では、11領域のリーガルリスクについて解説しています。 本セッションでは、海外事業におけるリーガルリスクへの取組みにあたり、前提として理解しておくべきリーガルリスクの全体像、様々なリスク領域に共通するポイント、デジタル化・SDGs等の動きを踏まえたリスクの最新動向及びリスクマネージメントの方向性について解説します。 ベーカー＆マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）　パートナー／弁護士　武藤 佳昭 氏 シニア・アソシエイト／弁護士　吉田 武史 氏
14:30-14:40	休憩
14:40-15:30	**グローバル法務・コンプライアンス体制の整備・運用の3つのポイント** 『海外子会社リーガルリスク管理の実務』では、前提となる海外子会社の内外環境、全体最適を目指した法務・コンプライアンス対応の整備・運用について解説しています。 本セッションでは、グローバル法務・コンプライアンスの全体像を確認したうえで、注力すべきポイントを実例を交えて解説します。 KPMGコンサルティング株式会社　パートナー　足立 桂輔 シニアマネジャー　水戸 貴之
15:30-15:40	休憩
15:40-16:30	**変革期を迎えたリーガルリスク対応の核心** グローバル化はもとより、デジタル化などによる破壊的変化が続く中、企業のリーガルリスク対応も大きく見直しを図っていく必要があります。本セッションでは、各企業において求められる対応や課題等につき、実例を交えて、弁護士とコンサルタントのそれぞれの観点からディスカッション形式で解説します。 ベーカー＆マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）　武藤 佳昭 氏、吉田 武史 氏 KPMGコンサルティング株式会社　足立 桂輔、水戸 貴之
16:30-16:50	質疑応答

※内容、日程等は変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

講師紹介

ベーカー＆マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）
パートナー／弁護士　武藤 佳昭 氏

25年以上にわたり、クロスボーダー性のある会社法務、各種契約取引及び紛争対応を中心に、国内外の企業取引、紛争案件を幅広く手がけている。ベーカー＆マッケンジーの東京事務所紛争業務グループ長およびアジア太平洋地域における紛争業務グループ統括リーダーのほか、日本弁護士連合会の国際業務・外国弁護士委員会副委員長、中小企業海外展開支援ワーキンググループ座長等の各種役職を務める。

シニア・アソシエイト／弁護士　吉田 武史 氏

東京当事務所の紛争解決グループに所属。国際商業会議所国際仲裁裁判所（ICC International Court of Arbitration）（香港）での勤務経験を有し、クロスボーダー性のある紛争解決案件のほか、各種契約交渉・作成案件、社内調査、コンプライアンス案件を主に取扱い、同分野における執筆・講演実績多数。中央大学大学院戦略経営研究科（中央大学ビジネススクール）兼任講師（「ビジネス交渉術」）、英国仲裁人協会会員、公認内部監査人及び公認不正検査士。

KPMGコンサルティング株式会社
パートナー　足立 桂輔

大手情報通信会社を経て、KPMGコンサルティングに入社。グローバルガバナンス、法務・コンプライアンス、リスクマネジメント、業務改善等、各種リスクコンサルティング業務に従事する。海外子会社管理、ガバナンス改善等に関する執筆・講演実績多数。
近時は、地域統括会社の機能改善、事業再生・再構築に伴うガバナンス改善業務についても取り組んでいる。

シニアマネジャー　水戸 貴之

法曹団体を経てKPMGコンサルティングに入社。グローバルでの法務・コンプライアンス組織／制度の策定・運用・高度化・モニタリング対応支援、海外子会社管理支援等に従事する。グループ管理、コンプライアンス対応に関する執筆・講演実績多数。
近時は、IT・テクノロジーを活用した法務・コンプライアンス業務の効率化・高度化についても取り組んでいる。

お問合せ先

KPMGコンサルティング株式会社
[担当：田口]
T：03-3548-5307
E：kc@jp.kpmg.com
home.kpmg/jp/kc

ご提供いただく個人情報は、当法人のHPに掲載している個人情報保護方針（home.kpmg/jp/privacy）に基づき、①当法人および関連グループからの有益な情報の提供（サービスのご案内、メールニュースの配信、ニューズレターの配送、セミナー・イベントのご案内や参加のご確認など）、②当法人および関連グループへのお問合せに関する回答、等に利用させていただくことがございます。なお、本件に関するお問合せは、kc@jp.kpmg.comまでお願いいたします。

© 2019 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Company Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative (“KPMG International”), a Swiss entity. All rights reserved.
The KPMG name and logo are registered trademarks or trademarks of KPMG International.